

## 第 1 1 ガス漏れ火災警報設備

### 1 検知器

検知器は、天井の室内に面する部分（天井がない場合にあっては、上階の床の下面。以下「天井面」という。）又は壁面の点検に便利な場所に、ガスの性状に応じて設置するほか次によること。

#### (1) 設置位置

ア 燃焼器が使用されている室内（現在使用されていないが、直ちに使用できるガス栓のある場合も含む。）

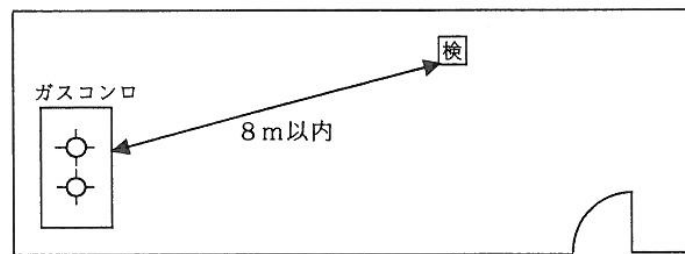
イ ガスを供給する導管が外壁を貫通する屋内側の付近

ウ 可燃性ガスが自然発生するおそれがあるとして消防長等が指定した場所

#### (2) 設置基準

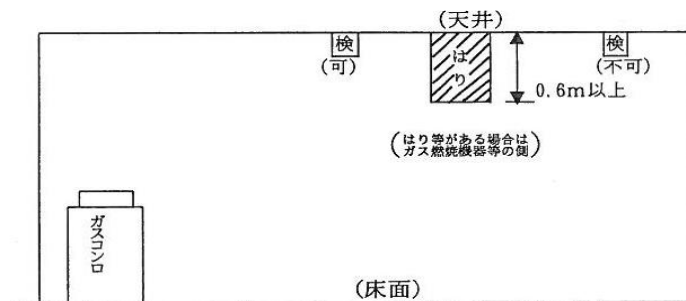
ア 空気に対する比重が 1 未満の場合

(ア) ガス燃焼機器と水平距離 8m 以内の位置に設置すること。（第 11-1 図）



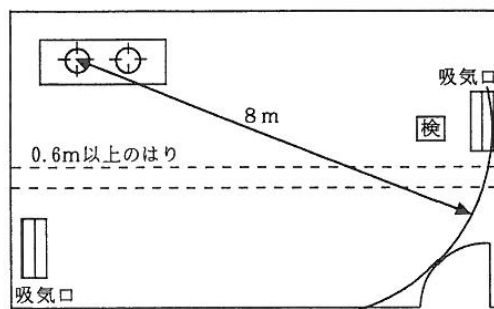
第 11-1 図

(イ) 天井面等が 0.6m 以上のはり等により区画されている場合は、ガス燃焼機器の側に設置すること。（第 11-2 図）



第11-2 図

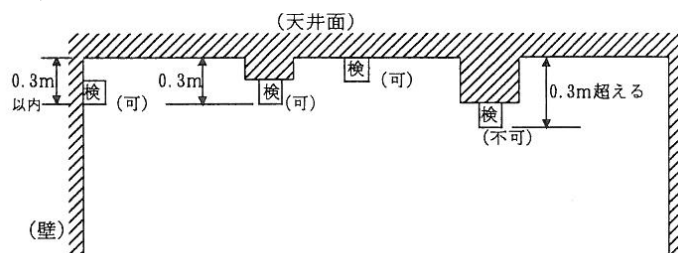
(ウ) ガス燃焼機器が使用される室の天井付近に吸気口のある場合は、第 11-3 図のように当該ガス燃焼機器との間の天井面等が 0.6m 以上突出したはり等によって区画されていない吸気口のうち、ガス燃焼機器から最も近い吸気口付近に設置すること。



第 11-3 図

(エ) 検知器の下端は、天井面等の下方 0.3m 以内の位置に設置すること。

(第 11-4 図)

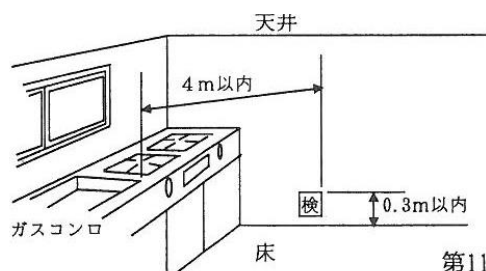


第 11-4 図

イ 空気に対する比重が 1 を超える場合

(ア) 第 11-5 図のようにガス燃焼機器から水平距離 4m 以内の位置に設置すること。

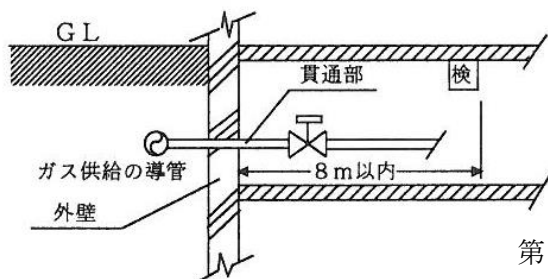
(イ) 検知器の上端は、第 11-5 図のように床面の上方 0.3m 以内の位置に設置すること。



第 11-5 図

(注) ア又はイにおいてガス導管の壁貫通部に設置する検知器については、「ガス燃焼機器」を「壁貫通部」と読みかえる。ただしア (ウ) については、この限りでない。

ガス導管の貫通部の例

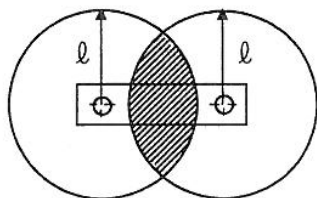


第 11-6 図

ウ 検知器からガス燃焼機器等までの距離の測定方法

(ア) 単一バーナーのガス燃焼機器の場合は、バーナー部分の中心からの水平距離

(イ) 複数バーナーを有するガス燃焼機器の場合は、各バーナー部分の中心からの水平距離 (第 11-7 図参照)



ℓ : バーナー部分の中心からの水平距離を示す。(8m 以内) この場合、検知器は、斜線部分の範囲内に設ければ 1 個で足りる。

第 11-7 図

エ 吸気口付近に検知器を設置する場合は、吸気口と 1.5m 以内とし、ガス燃焼機器等から漏れたガスを有効に検知できる方向 (流動方向に沿う方向) に検知器を設置すること。

## 2 受信機

- (1) 受信機は床又は壁に堅固に固定すること。
- (2) 受信機のある場所には、警戒区域一覧図のほか、構内配線図を備えること。
- (3) 受信機は防災センター等（防災センター、中央管理室及び守衛室等）に設置し、その設置位置は操作、点検等に必要な保有距離を確保すること。（設置位置図は、自動火災報知設備の受信機に準ずる。）

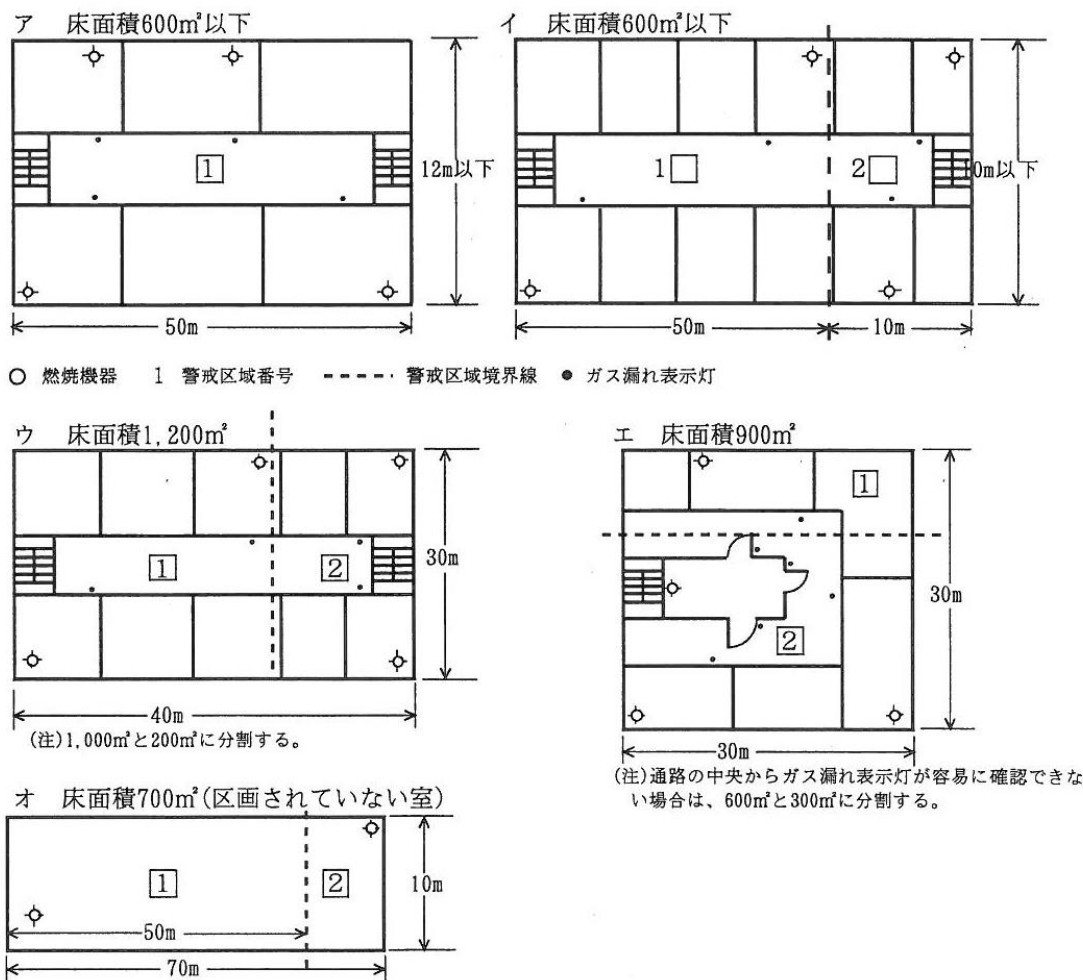
## 3 配線

配線は、第10 自動火災報知設備3配線の例によること。

## 4 警戒区域

- (1) 警戒区域の設定は、次によること。
  - ア 一辺の長さは、50m以下とすること。
  - イ 原則として、通路又は地下道に面する室、店舗等を1の警戒区域に含まれるように設定すること。
  - ウ 燃焼機器等の設置されていない室、店舗等（通路又は地下道を含む。）の面積も警戒区域に含めること。

<警戒区域の具体的な設置例>



The diagram shows a plan view of a building layout. The top part is a large rectangle divided vertically by a dashed line. The left side is labeled ① and has an area of  $1,000\text{m}^2$ . The right side is labeled ② and has an area of  $600\text{m}^2$ . The total width is  $40\text{m}$  and the height is  $40\text{m}$ . There are four small circles representing doors or windows: one at the bottom-left of ①, one at the top-center of the dashed line, one at the top-right of ②, and one at the bottom-left of ②.

The middle part shows a horizontal section with a total width of  $20\text{m}$ . It is divided into three sections by vertical dashed lines. The first section is labeled ① and has a width of  $50\text{m}$ . The second section is labeled ② and has a width of  $50\text{m}$ . The third section is unlabeled and has a width of  $50\text{m}$ . There are four small circles representing doors or windows: one at the top-center of the first section, one at the top-center of the second section, one at the bottom-left of the third section, and one at the bottom-right of the third section.

The bottom part shows a cross-section of the building. It consists of three rectangular sections. The middle section is labeled ①. Below it, there are two more sections, both labeled ②. To the right of these sections, there are two labels: "通路又は地下道" (Passage or underground passage) and "通路又は地下道" (Passage or underground passage).

[illegible]

## ガス漏れ火災警報設備の設置について

- (1) ガス燃焼機器が設置されているもの。
- (2) ガス燃焼機器を接続するだけで使用可能な状態にガス栓が設置されているもの。